



格今案

外債公債募集ノ案ニ付テハ  
提出ノ請書ノ趣

ナカノ  
ナカノ

今般露國ト開戦相成タルニ付テハ外債募集  
ノ義ハ戦時財政経畫上諸般ノ運用ノ爲メ最モ  
必要ナル申スマテモ無之、然ルニ交戦中ニ於ケル  
外債ノ募集ハ元来頗ル難事ナルヲ以テ其時  
機方法等殊々深ク注意ヲ加ヘサルカラス依テ  
左記ノ諸件ニ付豫メ閣議ヲ定ムルヲ要ス  
一 公債募集額ハ英貨壹千萬磅以内トス  
ル事

一 公債募集ハ倫敦市場ニ於テスル事

一 公債募集ニ関スル交渉ノ便利ノ為メ相  
當ノ権限ヲ委任シテ日本銀行副總裁高  
橋是清ヲ海外ニ派遣シ進テ公債募集  
ニ関シ帝國代表権限ヲ委任セラル駐在  
帝國公使ノ監督ノ下ニ其事務ニ當  
ラレム事

一 公債ノ利子ニテ年五分以下トシ其他券  
集上必要ノ條件ハ一般ノ情勢ノ市場ノ状  
況ニ依リテ之ヲ定ムル事

一 新ニ公債ヲ発行セズ既發行ノ帝國五

分利付公債ヲ裏書ノ方法ニヨリ賣却ス  
ル便ナリトスルトキハ従前裏書ノ方法ニ依  
テ壹億圓以内ヲ賣却スル事

右閣議ニ提出ス

明治三十七年二月十八日

大藏大臣男爵曾禰荒助

内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

進テ本文壹千萬磅ノ公債ハ戰時財以經

